科目名	種付けの理論（専門）　（牛）	受講番号	牛	豚

１．次の文章の［　　］の中に当てはまる語句を、下の選択肢（①～⑬）より選び、［　　］内へ記入せよ。なお、同じ語句を何度使っても良い。（５５点）

（１）雌の生殖器内で、精子と卵子が会合して接合子（受精卵）が作られる過程を［　　］という。

（２）子宮内に侵入した精子の移送には、主として精子自体の［　　］と子宮筋の［　　］が関与している。

（３）子宮頚管の粘液は［　　］が多量に分泌されている発情期では、［　　］が増して精子の侵入・通過が容易になる。しかし、［　　］が優位となる黄体期には粘液の［　　］が増し、精子は侵入できない。

（４）卵管峡部に到達した精子は、［　　］と結合し、排卵まで待機する。その後、排卵に伴う変化により、［　　］と離れて受精能を獲得するとともに、尾部の運動が活性化される。

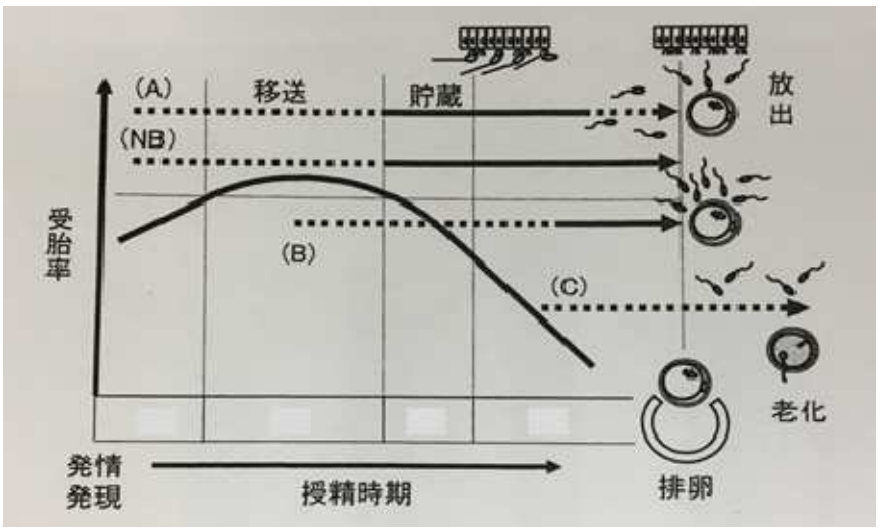
（５）受精は生殖器内の卵管［　　］で行われ、受精後の胚は卵管内を移送される間、２細胞期→８細胞期→［　　］（排卵後４～６日）→ 胚盤胞 → 脱出胚盤胞となり、子宮内膜に着床する。

『 選択肢一覧 』

① 膨大部　②峡部　③膨大部峡部接合部　④ 受精　⑤ 着床　⑥ 水和性　⑦ 粘稠度

⑧ プロジェステロン　⑨ エストロジェン　⑩ 運動性　⑪　卵管上皮細胞　⑫ 収縮運動　⑬ 桑実胚

２．　以下の図の（A)、(B)、(C）の授精時期について、「早い授精」、「適期授精」、「遅い授精」のいずれかに振り分けそれぞれについて説明せよ。(A、B、C の人工授精に使用した精液は一般凍結精液）（４５点）



例		
(NB)	自　然　交　配（発情時受精）	精液量が多く、活力も高い。発情発現直後に交配しても、排卵時まで必要な数の精子が貯蔵される。

	授精時期	説明
(A)		
(B)		
(C)		